

信州やまなみ国スポ・全障スポ 実行委員会

第1回広報・県民運動専門委員会

行こう。それぞれの頂へ。



信州やまなみ国スポ・全障スポ

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会



長野県PRキャラクター「アルクマ」©長野県アルクマ

書面開催資料
令和7年12月3日（水）

信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会
第1回広報・県民運動専門委員会 次第

令和7年12月3日(水)
書面開催

委員名簿

報告事項

1. 広報・県民運動専門委員会委員の変更について

資料1：広報・県民運動専門委員会委員の変更

2. 準備委員会及び実行委員会における決定事項

資料2：準備委員会及び実行委員会における決定事項について

参考資料1：第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会第14回常任委員会開催結果

参考資料2：第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会第9回総会開催結果

参考資料3：信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会第1回総会開催結果

審議事項

1. 信州やまなみ国スポ・全障スポ公式ポスター・デザイン審査要項（案）について

資料1-1：公式ポスター・デザイン審査要項（案）

資料1-2：信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会広報・県民運動専門委員会第1回広報推進戦略部会の開催結果について

参考資料4：公式ポスター・デザイン募集要項

参考資料5：広報推進戦略部会部会員名簿

広報・県民運動専門委員会 委員名簿

(敬称略)

令和7年8月1日現在

職名		機関・団体名
委員長	穴山 梢三	公立大学法人長野県立大学 グローバルマネジメント学部長
副委員長	深沢 幸栄	社会福祉法人長野県社会福祉協議会 事務局長
委員	竹之下 茂	日本放送協会長野放送局 コンテンツセンター長
〃	上條 道哲	信越放送株式会社 取締役情報センター長
〃	伊藤 晴彦	株式会社長野放送 報道制作局長
〃	篠原 弘和	株式会社テレビ信州 報道制作局長
〃	山岸 寿美	長野朝日放送株式会社 報道制作局長
〃	伊藤 徹	長野エフエム放送株式会社 編成制作部長
〃	高森 和郎	信濃毎日新聞社 取締役編集局長
〃	志賀 英樹	株式会社朝日新聞社長野総局 総局長
〃	高橋 秀明	株式会社毎日新聞社長野支局 支局長
〃	北市 治史	株式会社読売新聞社長野支局 支局長
〃	石毛 紀行	株式会社産業経済新聞社長野支局 支局長
〃	島崎 諭生	株式会社中日新聞社長野支局 支局長
〃	羽田 洋子	株式会社日本経済新聞社長野支局 支局長
〃	江刈内 雅史	株式会社日刊工業新聞社長野支局 支局長
〃	高島 剛志	株式会社長野日報社長野支社 支社長
〃	小坪 俊哉	一般社団法人共同通信社長野支局 支局長
〃	阿萬 英之	株式会社時事通信社長野支局 支局長
〃	薩摩 建	長野県新聞協会 会長
〃	岩下 正志	一般社団法人長野県ケーブルテレビ協議会 事務局長
〃	小池 行範	一般社団法人日本コミュニティ放送協会信越地区協議会 会長
〃	中村 宏平	公益財団法人長野県スポーツ協会 専務理事
〃	高池 武史	公益財団法人長野県障がい者スポーツ協会 常務理事兼事務局長
〃	犠山 典生	一般社団法人長野県経営者協会 事務局長
〃	鈴木 幸一	長野県中小企業団体中央会 事務局長
〃	更級 伸彦	一般社団法人長野県商工会議所連合会 事務局長
〃	待井 政志	長野県商工会連合会 事務局長
〃	中塚 徹	長野県農業協同組合中央会総務企画部 部長
〃	中島 邦雄	一般社団法人長野県観光機構 常務理事兼パブリック事業1部マネージャー
〃	今井 正子	一般社団法人長野県連合婦人会 会長
〃	宮村 泰之	公益財団法人長野県長寿社会開発センター 常務理事
〃	石川 政好	長野県小学校長会 幹事長
〃	加藤 浩	長野県中学校長会 副会長
〃	馬場 正一	長野県高等学校長会 副会長
〃	神山 明彦	長野県特別支援学校校長会 庶務幹事
〃	添谷 芳久	長野県私立中学高等学校協会 副会長
〃	前田 大吾	長野市スポーツ部国スポ・全障スボ推進課 課長
〃	宇留賀 智	松本市スポーツ部国スポ・全障スボ企画課 課長
〃	布施 秀雄	佐久穂町総合政策課 課長
〃	本島 奎	高森町総務課 課長
〃	湯浅 奎彦	小布施町教育委員会事務局生涯学習課 課長
〃	池田 智和	長野県企画振興部 広報・共創推進課 課長
〃	小山 浩一	長野県観光スポーツ部 観光誘客課 課長
〃	武居 正憲	長野県総合教育センター教科教育部学校体育担当 専門主事

報告事項

広報・県民運動専門委員会委員の変更

(敬称略)

職名	新任者	旧任者	所属・役職等
委員	上條 道哲	堀内 哲也	信越放送株式会社 取締役情報センター長
委員	島崎 諭生	今村 実	株式会社中日新聞社長野支局 支局長

準備委員会及び実行委員会における決定事項

「第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会」 第14回常任委員会の開催結果について

1 日 時

令和7年8月25日（月）13:30～14:10

2 場 所

オンライン会議（主会場：長野市「ホテル国際21 2階 芙蓉の間」）

3 出欠状況

総数58名

出席者（本人及び代理出席）：33名、欠席による委任状提出者：19名 計52名

4 報告事項

各専門委員会における審議結果について

5 審議事項

- (1) 第1号議案 第82回国民スポーツ大会 総合閉会式会場の変更（案）について
- (2) 第2号議案 第27回全国障害者スポーツ大会 開催予定施設の変更（案）について
- (3) 第3号議案 信州やまなみ国スポ・全障スポ 募金・企業協賛推進要項（案）について
- (4) 第4号議案 第82回国民スポーツ大会 デモンストレーションスポーツ実施競技及び会場地市町村第4次選定（案）について
- (5) 第5号議案 第27回全国障害者スポーツ大会 オープン競技実施競技及び会場地市町村第1次選定（案）について

(1)～(5)について、いずれも質疑なく原案のとおり承認。

6 その他

信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会会則及び専門委員会規程の改正予定並びに県外競技会運営委員会規程の新設予定について

「第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会」

第9回総会の開催結果について

1 日 時

令和7年8月25日（月） 14:20～14:50

2 場 所

オンライン会議 （主会場：長野市「ホテル国際21 2階 芙蓉の間」）

3 出欠状況

総数302名

出席者（本人及び代理出席）：197名、欠席による委任状提出者：100名 計297名

4 報告事項

- (1) 報告事項1 役員、委員等の変更について
- (2) 報告事項2 第14回常任委員会における決定事項について
事務局から一括して報告。 → 質疑なし。

5 審議事項

- (1) 第1号議案 令和6年度事業報告（案）について
- (2) 第2号議案 令和6年度収支決算（案）について
事務局から2件一括して説明。 → 質疑なく原案どおり可決。
- (4) 第3号議案 令和7年度補正予算（案）について
事務局から説明。 → 質疑なく原案どおり可決。
- (5) 第4号議案 信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会の設置について（案）
事務局から説明。 → 1件質疑あり。
○長野県スポーツ少年団団長 宮下委員
→準備委員会から今回の会議をもって実行委員会に代わるということのご説明をいただいたが、準備状況は、順調に推移しているという解釈でよろしいか。
→（事務局）

準備状況の進捗については、先ほど会長からもお話があったように、7月16日付けで日本スポーツ協会の理事会において本県の国スポ・全障スポの開催が正式決定された。

事前に日本スポーツ協会及びスポーツ庁に視察を行っていただき、準備状況が順調に進んでいるということを踏まえたうえでの決定である。

それらの現状を踏まえ、本日、準備委員会から実行委員会に改組し、一層ギアを上げて準備に取り組んでまいりたい。

他質疑なく、原案どおり可決。

「信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会」 第1回総会の開催結果について

1 日 時

令和7年8月25日（月） 15:00～15:25

2 場 所

オンライン会議 （主会場：長野市「ホテル国際21 2階 芙蓉の間」）

3 出欠状況

総数316名

出席者（本人及び代理出席）：205名、欠席による委任状提出者：107名 計312名

4 報告事項

- (1) 報告事項1 信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会委員の就任について
- (2) 報告事項2 第82回国民スポーツ大会の開催地及び会期の決定並びに第27回全国障害者スポーツ大会の開催地の決定について
事務局から一括して報告。 → 質疑なし。

5 審議事項

- (1) 第1号議案 総会から常任委員会等への委任事項の改正（案）について
事務局から説明。→質疑なく原案どおり可決。
- (2) 第2号議案 信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会 専門委員会規程（案）について
- (3) 第3号議案 信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会 募金・企業協賛推進委員会設置規程（案）について
- (5) 第4号議案 信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会 県外競技会運営委員会規程（案）について
事務局から3件を一括して説明→質疑なく原案どおり可決。

【全体を通じての御質問・御意見】

○長野県スポーツ協会副会長 萩原委員

実行委員会が設置され、本大会開催まであと3年であるが、我々の関心事項は、天皇杯獲得についてである。現在の状況で天皇杯が目指せるのかについて、各競技団体の状況等を、報告の中に加えていただいても良いのではないかと思うが如何。

→（事務局）

本日の総会・常任委員会では準備の関係で様々な御審議をいただき感謝。大会運営に関しては、準備状況や施設整備だけではなく、大会に参加する選手に関しても重要であるため、競技力向上の状況については今後、実行委員会の各専門委員会、常任委員会、総会の場で適宜情報共有させていただきたい。

→ (萩原委員)

競技の状況が重要であると思う。競技の状況を総会の報告事項に入れていただいても良いのではないかと思いますが、会長は如何。

→ (阿部知事)

御質問いただき感謝。全くそのとおりであると思う。本日の総会は事務的な内容に終始している感じがしたが、仰っていただいたように、各競技団体の状況や、各大会の成績等について多くの皆さんに共有していかないといけないと思う。

総会の機会こそ、国スポ・全障スポにむけての大きなアピールの機会であると思う。本日お集りいただいている皆様は、我々と一緒に国スポ・全障スポ成功に向けて取り組んでいる方々である。現状について我々が共有していくことが大切であると思う。御指摘の内容にしっかりと応えながら大会運営に取り組んでいきたい。

審議事項

信州やまなみ国スポ・全障スポ
(第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会)
公式ポスター・デザイン審査要項（案）

1 趣旨

この要項は、信州やまなみ国スポ・全障スポ（第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会）公式ポスター・デザイン募集要項（以下「募集要項」という。）に基づき応募のあった作品について、募集要項「6 賞及び賞金」に記載の入賞作品の候補を選定するために必要な事項を定めるものである。

2 審査基準

- (1) スポーツの祭典にふさわしいもの。
 - (2) 視覚的に注目を浴びるインパクトのあるもの。
 - (3) 「第 82 回国民スポーツ大会（冬季大会）」または、「第 82 回国民スポーツ大会（本大会）及び第 27 回全国障害者スポーツ大会」の特徴を分かりやすく表現し、魅力をアピールするもの。
- ※以下、「第 82 回国民スポーツ大会（冬季大会）」を「冬季大会」、「第 82 回国民スポーツ大会（本大会）及び第 27 回全国障害者スポーツ大会（全障スポ）」を「本大会・全障スポ」という。
- (4) 大会愛称、スローガンの趣旨がイメージできるもの。

【大会愛称】信州やまなみ国スポ・全障スポ

日本の屋根と呼ばれ、多くの美しい山々を有する長野県。大会に関わるすべての人が、信州の山脈のようにつらなり、手を取り合い、未来へつながる大会を目指します。

【大会スローガン】行こう。それぞれの頂へ。

頂点を目指すだけが大会の意味ではなく、それぞれにそれぞれが想うゴールがあります。選手や観戦する人、ボランティアなど、大会に関わるすべての人が、自分の想い描く頂（いただき）を目指す様子をイメージしています。

3 審査方法

信州やまなみ国スポ・全障スポ（第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会）公式ポスター・デザインの入賞作品は、信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会事務局（以下、「事務局」という。）による作品の整理後、広報推進戦略部会員（以下、「部会員」という。）が入賞候補作品の選定を行ったうえで、広報・県民運動専門委員会（以下、「委員会」という。）の審議により決定するものとする。

(1) 事務局による作品の整理

事務局において、応募作品が募集要項の応募要件等を満たしているかどうか確認を行い、不適切なものを除外する。また、応募作品が多数に及ぶ場合は、部会員による審査の前に作品数を絞り込むこととし、その方法は別途定めることとする。

(2) 部会員による選定

ア 冬季大会公式ポスター・デザインの応募作品の中から「2 審査基準」に基づき、最優秀賞候補作品、優秀賞候補作品をそれぞれ 1 点選定する。

イ 本大会・全障スポ公式ポスター・デザインの応募作品の中から「2 審査基準」に基づき、最優秀賞候補作品、優秀賞候補作品をそれぞれ 1 点選定する。

※優秀賞候補作品は、最優秀賞候補作品が使用できない場合の予備作品とする。

ウ 3 (2) ア、イで選定した作品を除く小学生の応募作品の中から「2 審査基準」に基づき、小学生部門賞候補作品を1点選定する。

エ 3 (2) ア、イで選定した作品を除く中高生の応募作品の中から「2 審査基準」に基づき、中高生部門賞候補作品を1点選定する。

オ 選定は合議の方式を探るものとするが、部会員間で意見が分かれた場合等には、部会長の判断により決定する。

(3) 委員会による審議

ア 事務局は、3 (2) で選定された最優秀賞候補作品2点、優秀賞候補作品2点、小学生部門賞候補作品1点、中高生部門賞候補作品1点、それらの選定理由を委員会へ示す。

イ 委員会は、3 (3) アを基に、審議を行った後、入賞作品を委員の多数決により決定する。なお、多数決の結果が同数の場合は、委員長の決するところによる。

信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会 広報・県民運動専門委員会第 1 回広報推進戦略部会の開催結果について

1. 日時

令和 7 年 10 月 31 日 (金) 10:00 ~ 11:30

2. 場所

オンライン会議

3. 出欠状況

部会員総数 6 名

出席者 6 名

4. 報告事項

(1) 部会員の変更について

事務局から報告 → 質疑なし

5. 検討事項

(1) 公式ポスターデザイン審査要項 (案) について

事務局から説明 → 質疑あり → 質疑内容の趣意を審査要項 (案) に反映

【質疑内容】

○株式会社ビーチュー 雨宮部会員

最優秀賞候補作品や優秀賞候補作品に小学生や中高生の作品が入選した場合、後に行う「小学生部門」「中高生部門」の入賞候補作品の選定には、それらの作品は含まれるか。

→事務局

最優秀賞候補作品や優秀賞候補作品に小学生や中高生の作品が入選した場合、それらの作品は各部門の入賞候補作品の選定には含めない。

信州やまなみ国スポ・全障スポ
(第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会)
公式ポスター デザイン 募集要項

1 趣旨

2028年（令和10年）に信州やまなみ国スポ・全障スポ（第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会、以下「両大会」という。）が長野県で開催されるに当たり、両大会を広く周知するとともに気運醸成を図るため、公式ポスターのデザインを公募します。

2 募集作品

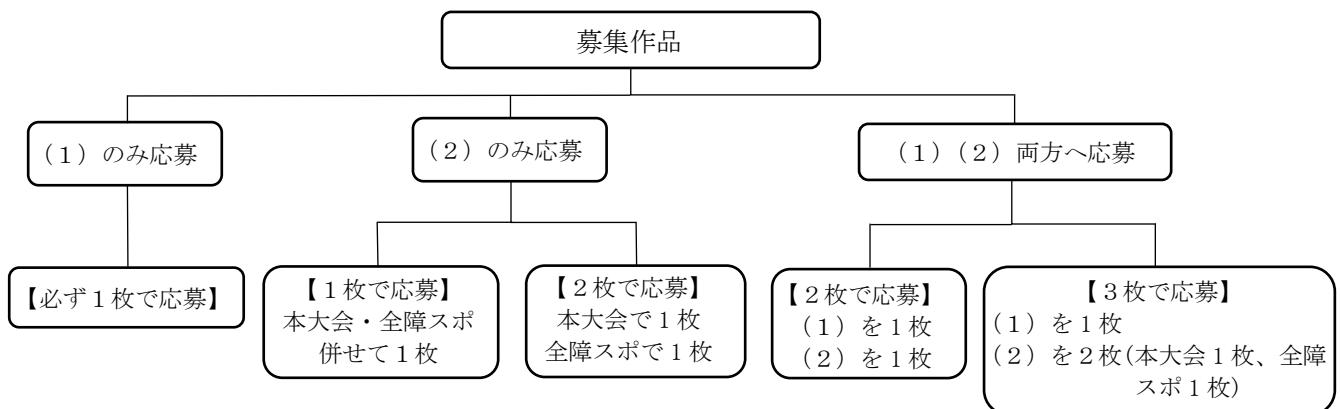
- (1) 第82回国民スポーツ大会（冬季大会）公式ポスター デザイン
- (2) 第82回国民スポーツ大会（本大会）及び第27回全国障害者スポーツ大会 公式ポスター デザイン

以下、「第82回国民スポーツ大会（冬季大会）」を「冬季大会」、「第82回国民スポーツ大会（本大会）及び第27回全国障害者スポーツ大会（全障スポ）」を「本大会・全障スポ」という。

◎募集作品の種別

(1)のみ、(2)のみ、または、(1)(2)両方への応募が可能です。また、(2)は本大会と全障スポで作品を分けて応募が可能ですが、その場合それぞれの大会の特徴を表現した統一感のあるデザインとしてください。

応募のパターンは以下の表を参照してください。



3 デザインコンセプト

「冬季大会」及び「本大会・全障スポ」のイメージと長野県の魅力を広く発信するもので、次の事項に沿った内容とします。

- (1) スポーツの祭典にふさわしいもの。
- (2) 視覚的に注目を浴びるインパクトのあるもの。
- (3) 「冬季大会」または、「本大会・全障スポ」を分かりやすく表現し、魅力をアピールするものの。

(4) 大会愛称、スローガンの趣旨がイメージできるもの。

【大会愛称】信州やまなみ国スポ・全障スポ

日本の屋根と呼ばれ、多くの美しい山々を有する長野県。大会に関わるすべての人が、信州の山脈のようにつらなり、手を取り合い、未来へつながる大会を目指します。

【大会スローガン】行こう。それぞれの頂へ。

頂点を目指すだけが大会の意味ではなく、それぞれにそれぞれが想うゴールがあります。選手や観戦する人、ボランティアなど、大会に関わるすべての人が、自分の想い描く頂（いただき）を目指す様子をイメージしています。

4 応募資格

長野県内に在住・在学・在勤の方、またはその経験がある方。なお、個人・グループ・部活動・サークル活動または法人、プロ・アマを問いません。

5 募集期間

令和7年7月17日（木）から令和7年12月19日（金）まで（当日消印有効）

6 賞及び賞金

応募作品の中から入賞作品を決定し、賞状、賞金（中学生以下は図書カード）及び副賞を授与します。

（1）冬季大会公式ポスター

①最優秀賞 1点（公式ポスター等に採用） 賞状、賞金 100,000 円、副賞

②優秀賞 1点 賞状、賞金 30,000 円、副賞

（2）本大会・全障スポ公式ポスター

①最優秀賞 1点（公式ポスター等に採用） 賞状、賞金 100,000 円、副賞

②優秀賞 1点 賞状、賞金 30,000 円、副賞

（3）部門賞 全ての応募作品の中から以下2部門について部門賞作品を決定する。

①小学生部門 1点 賞状、賞金 10,000 円、副賞

②中高生部門 1点 賞状、賞金 10,000 円、副賞

7 応募作品の規格

（1）使用する画材・表現方法（絵画、写真、コンピュータグラフィックス等）は自由としますが、油絵の具を使用したものや、立体の作品は不可とします。

（2）コンピュータグラフィックス等で作成する場合は、illustrator と互換性があるデータ形式としてください。長野県準備（実行）委員会（以下、「委員会」という。）においてデータの加筆・修正を行う場合があるため、画像編集ソフトで制作した元データを保存しておいてください。

（3）応募作品サイズは、B3判（364mm×515mm）縦型とします。委員会が上部または下部に大会開催情報（名称、愛称、スローガン、大会マスコットキャラクター、開催期間等）を記載できるようなデザインとしてください。

（4）大会マスコットキャラクター「アルクマ」は使用しないでください。

（5）競技を描写する場合は、別添「正式競技一覧」にある競技を描写してください。

（6）写真を使用する場合は、解像度の高いもの（300dpi以上）としてください。

（7）コンピュータグラフィックス作品は、原寸大データ（pdf もしくは jpeg 形式で、CD-ROM又はDVD-ROMに保存すること）とA4判の出力見本を提出してください。

8 応募方法

- (1) 応募にあたっては、両大会の「公式ポスターイン申込書」及び「公式ポスターイン応募に係る誓約書」に必要事項を記載の上、応募作品に同封して提出してください。
なお、複数の作品を提出する場合は必ず提出物を1セットとして提出してください。
- (2) 下記12の応募先に送付又は持参してください。持参の場合の受付は、閉庁日（土曜・日曜・祝日）を除く9時から17時までとします。

9 審査及び表彰等

- (1) 委員会が設置する広報推進戦略部会における入賞作品候補の選定を経て、広報・県民運動専門委員会で審議の上、決定します。
- (2) 入賞作品の決定は、令和8年9月頃に入賞者へ通知するとともに、報道機関等へ発表する予定です。ただし、事情により決定の時期を変更することがあります。
- (3) 入賞作品については、作品及び応募申込書に記載された作品説明について、大会公式ホームページに掲載するとともに、委員会及び各市町村での展示や広報資料に活用します。なお、選考結果に関する問い合わせについての回答は行いません。

10 応募作品（入賞作品を含む）の著作権及び使用

- (1) 応募者には、すべての応募作品について、委員会が入賞作品の発表及び両大会の広報活動のために無償で利用すること（印刷物やホームページ等への掲載等）に関し、了承していただきます。
- (2) 最優秀作品のポスターインを公式ポスターに採用することとし、両大会の広告宣伝等を目的とする印刷物等にその全部又は一部を使用します。
- (3) 採用作品の応募者（制作者）は、当該作品の原画及び元データ等、ポスター制作に必要な資料を委員会に提出していただきます。
- (4) 採用作品の著作権（著作権法第27条及び第28条の権利を含む。）、商品化権、使用権、商標権、その他一切の権利（以下「著作権等」という。）は、委員会に帰属するものとし、応募者は応募作品に係る著作者人格権行使しないものとします。なお、改組等により、委員会に変更があった場合には、著作権等は変更後の組織に、組織が解散した場合は長野県に帰属するものとします。
- (5) 採用作品の使用の際は、委員会において加筆・修正を施すことができるものとします。

11 その他留意事項

- (1) 応募する作品は、応募者の自作未発表の作品とします。
- (2) 作品の中に第三者が著作権・肖像権等の権利を有している著作物等を使用していないものとします。特に画像生成系AIは著作権上、予期せぬトラブルの原因となりますので、使用しないようにしてください。
- (3) 著作権・肖像権等の問題が生じないよう十分注意し、生じた場合は応募者の責任において処理することとし、委員会は一切の責任を負いません。
- (4) 盗作、模写、自作でない作品又は発表済みの作品とみなされた場合や、申込事項に虚偽が

発覚した場合は、発表後であっても入賞を取り消すこととし、取消に伴い発生した費用の一切について、応募者に負担していただきます。

- (5) 応募にあたり御提供いただいた個人情報については、本募集事業の実施に関わる事項以外には使用しません。なお、入賞作品の応募者（グループ等での応募の場合は代表者）の氏名・グループ又は法人名又は学校名、住所（市町村）については、公表します。
- (6) 応募の時点で、この募集要項に記載の各事項に同意したものとみなします。
- (7) 応募作品は返却しません。また、作品の応募にかかる費用は、すべて応募者の負担となります。
- (8) 本要項に定めのない事項及び不明な事項が生じた場合は、その都度委員会と応募者が協議のうえ、決定することとします。

12 応募・問合せ先

〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下 692-2 ※持参の場合は県庁3階
第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備(実行)委員会事務局
(長野県観光スポーツ部国スポ・全障スポ大会局総務企画課広報・県民運動係)
TEL : 026-235-7440 メールアドレス : koho2028@pref.nagano.lg.jp

**信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会広報・県民運動専門委員会
広報推進戦略部会 部会員名簿**

(敬称略)

職名	氏名	機関・団体名
部会長	穴山 悅三	公立大学法人長野県立大学 グローバルマネジメント学部長
副部会長	林 一路	信濃毎日新聞社 マーケティング局営業部長
部会員	小池 利幸	エルシーブイ株式会社 放送制作部 報道制作課長
部会員	坂口 崇久	一般社団法人長野県観光機構 コーポレートデザイン部マネージャー
部会員	雨宮 伊織	株式会社ビーチュー 代表取締役
部会員	岩崎 悟	株式会社松本山雅 宣伝広報部 部長
計 6 名		